

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明資料

菊水ホールディングス株式会社
<https://kikusui-holdings.co.jp>

当社グループの紹介

P3～

2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

P12～

2025年3月期 連結業績予想

P23～

● 会社概要 (2024年9月末現在)

社名(銘柄コード)		菊水ホールディングス株式会社(6912)	
設立		1951年(昭和26年)8月8日	
資本金		22億125万円(3月決算)	
発行済株式数		9,900,000株(1単元株数100株)	
事業内容		グループ会社の経営管理等	
大株主 (自己株式は含まず)		菊水取引先持株会	11.4%
		株式会社ケーティーエム	10.9%
		菊水従業員持株会	4.5%
		株式会社みずほ銀行	4.3%
		小林寛子	4.2%
		日本生命保険相互会社	3.6%
		アジア電子工業株式会社	3.5%
		ケル株式会社	2.6%
		株式会社三菱UFJ銀行	2.6%
		橋本幸雄	2.3%
代表者		代表取締役社長 小林一夫	
従業員数 (当社グループ)		331名(2024年9月末現在) []は前年比増減	
		研究開発	80名[- 9]
		生産・購買	95名[+ 5]
		営業	120名[- 1]
		管理	36名[+ 4]

● 菊水グループ各社の拠点



●は海外代理店

菊水ホールディングス株式会社

本社（神奈川県横浜市都筑区）

関連子会社

菊水電子工業株式会社（神奈川県横浜市都筑区）

2022年4月設立 連結 出資比率:100%

営業所:横浜、仙台、さいたま、名古屋、吹田、福岡(出張所)

菊水エムズ株式会社（山梨県南都留郡富士河口湖町）

2022年4月設立 連結 出資比率:100%

菊水貿易(上海)有限公司(中国 上海市)

2006年6月設立 連結 出資比率:100%

KIKUSUI AMERICA, INC.（米国カリフォルニア州トーランス市）

2004年10月設立 連結 出資比率:100%

Kikusui Electronics Europe GmbH(ドイツデュッセルドルフ市)

※菊水電子工業株式会社 子会社

2023年7月設立

フジテック株式会社(山梨県南都留郡富士河口湖町)

※菊水エムズ株式会社 子会社

1986年6月設立

沿革

2005 平成17年

燃料電池関連技術に関する技術能力を
中国科学アカデミー化学部研究所
(DICP) と提携
HD DVD計測器について
パルスデジタル工業との協業を開始

2006 平成18年

創立55周年記念式典開催
中華人民共和国・上海市に
菊水貿易(上海)有限公司を設立
PSE法<電気用品安全法>騒動

2009 平成21年

旧テクノオ社より
エアロフレックス社製アビオニクス製品の
日本販売代理店権を継承
中国拠点の合理化

エアロフレックス社製
アビオニクス製品の
日本販売代理店権を継承

インテリジェント・バイポーラ電源PS2000 発売

燃料電池インバータシステムKFM2000 発売

充電システムコントローラPF2011 発売

2012 平成24年

EV自動車レース協賛
(JEVRA、バイクスEVチャレンジ)
北関東営業所移転

TEAM SHOW KIKUSUI

電気自動車によるカーレースをスポンサード

JEVRA KIKUSUI

2013 平成25年

電力中央研究所様
PCB (リバーコンタクト) 振動試験設備用
大容量交流電源PCR1000Eを導入
Amazon販売開始

大容量シリーズを拡充!

電力中央研究所 曲線試験センターに
大容量交流電源PCR1000Eを導入

2011 平成23年

コーポレートサイトの
デザイン(日本語ページ)を
全面リニューアル

キャパシタスタ
PM2000シリーズ 発売

高圧直流電源用スイッチング電源PS1000シリーズ 発売

高圧直流電源用電源
PDR1000シリーズ 発売

デジタルパワーモジュール
KPM1000 発売

2016-18 平成28~30年

ソリューション製品サイト
KIKUSUI magを開発
販売支援マンガ(ハイカブ)公開
本社を静岡市清水区(静岡市)に移転
技術センターを「菊水開発センター」に改称

燃料電池関連電源
PL2000シリーズ 発売

燃料電池関連電源
PL2000シリーズ 発売

燃料電池関連電源
PL2000シリーズ 発売

2022-24 令和4~6年

会社分割による持株会社体制へ移行
監査等委員会設置会社へ移行
双方向大容量直流電源 (PXBシリーズ)
大容量ワイドレンジ直流電源 (PKTシリーズ)
大容量周生電子負荷装置 (PKZシリーズ)

KIKUSUI HOLDINGS
菊水ホールディングス株式会社

KIKUSUI
菊水電子工業株式会社

KIKUSUI EMZ
菊水エムズ株式会社

2022年10月
会社分割により持株会社体制へ移行

双方向大容量直流電源
PXBシリーズ 発売

大容量ワイドレンジ直流電源
PKTシリーズ 発売

大容量周生電子負荷装置
PKZシリーズ 発売

2014-15 平成26~27年

直流電源PMX-Aシリーズ
マスコットキャラクター Pobby
菊水貿易(上海) 有限公司を移転

PMX-Aシリーズ
Pobby

AC/DC電源試験機
TOS9000 発売

PCB試験機TOS710S 発売

大容量周生電子負荷
PCA-Aシリーズ 発売

デジタルワイドレンジ直流電源
PMX-Aシリーズ 発売

2019-21 令和1~3年

電気安全規格試験マルチアナライザ
TOS9300シリーズ
精密電圧計
オーディオスピーカー DSPシリーズ

高圧直流電源用電源
PDR1000シリーズ 発売

高圧直流電源用電源
PDR1000シリーズ 発売

高圧直流電源用電源
PDR1000シリーズ 発売

2022-24 令和4~6年

会社分割による持株会社体制へ移行
監査等委員会設置会社へ移行
双方向大容量直流電源 (PXBシリーズ)
大容量ワイドレンジ直流電源 (PKTシリーズ)
大容量周生電子負荷装置 (PKZシリーズ)

KIKUSUI HOLDINGS
菊水ホールディングス株式会社

KIKUSUI
菊水電子工業株式会社

KIKUSUI EMZ
菊水エムズ株式会社

2022年10月
会社分割により持株会社体制へ移行

双方向大容量直流電源
PXBシリーズ 発売

大容量ワイドレンジ直流電源
PKTシリーズ 発売

大容量周生電子負荷装置
PKZシリーズ 発売

● 事業活動トピックス

<新製品>

・PMX-Aシリーズ(小型直流電源)

・PLZ-5Wシリーズ(電子負荷)

・PWR-01シリーズ(直流電源)

・PCR-WE/WE2シリーズ(交流電源)

・TOS9300シリーズ(電気安全規格試験マルチアナライザ)

・PAN-Eシリーズ(直流電源)

・PCR-WEA/WEA2シリーズ(交流電源)

・PCJシリーズ(交流電源)

・TOS9300 ラインアップ追加

・PCR-WEA/WEA2 シリーズ(交流電源) フロントパネル変更

・ハイレートバッテリーテスタ PFX2731S

・双方向大容量直流電源 PXBシリーズ

・大容量ワイドレンジ直流電源 PXTシリーズ

・大容量回生電子負荷装置PXZシリーズ

・EV充電 / 放電多目的コントローラ KEV1000 シリーズ

<イベント>

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

・富士勝山事業所にデモルーム開設

・Webサイト「KIKUSUI mag」開設

・本社を横浜市都筑区茅ヶ崎中央へ移転

・菊水創発センター リノベーション工事完了

・KIKUSUI AMERICA, INC. トーランス市に移転

・譲渡制限付株式報酬制度を導入

・ドイツ デュッセルドルフに駐在員事務所を開設

・菊水貿易(上海)有限公司 北京分公司を開設

・創立70周年記念 昭和レトロ計測器ブルートゥーススピーカー3機種発売

・会社分割による持株会社体制へ移行

・菊水電子工業株式会社及び菊水エムズ株式会社2社を承継会社とする吸収分割

・菊水貿易(上海)有限公司 広州分公司を開設

・監査等委員会設置会社へ移行

・Kikusui Electronics Europe GmbHを設立

● ビジネスモデル

当社グループの独自性

計測技術と電源技術の両方を有していること！

(微小から大電流まで、電気エネルギーを高精度で制御、測定する技術・ノウハウ)

[顧客]

メーカー

(電機・電子機器、電子部品、自動車)

研究

開発・設計

生産

検査

メンテナンス

公的研究所・機関
教育機関(大学等)

工業試験所
(テストラボ)

公的機関
(防衛、警察等)

グローバルに販売展開！

電子計測器

電気のモノサシ、産業の「マザーツール」として、家電製品、OA機器、電子製品などの「安全性」や「正確性」の測定・試験に使用されます。近年は、**自動車のノイズ耐性(EMC)**に関する試験、また**EV用バッテリーの絶縁性能試験**の測定需要が高まっています。

耐電圧試験器

EMC試験器



電源機器

研究開発や製造工場などで、安定した電力(直流・交流)を供給する設備として使用されます。近年は、**宇宙産業・電子部品市場**での評価試験や製造設備用として直流電源、**ハイブリッドカー・電気自動車の評価**に必須となる電子負荷装置(電力を消費する装置)、**パワーコンディショナーなどの評価**に必要な交流電源の需要が高まっています。

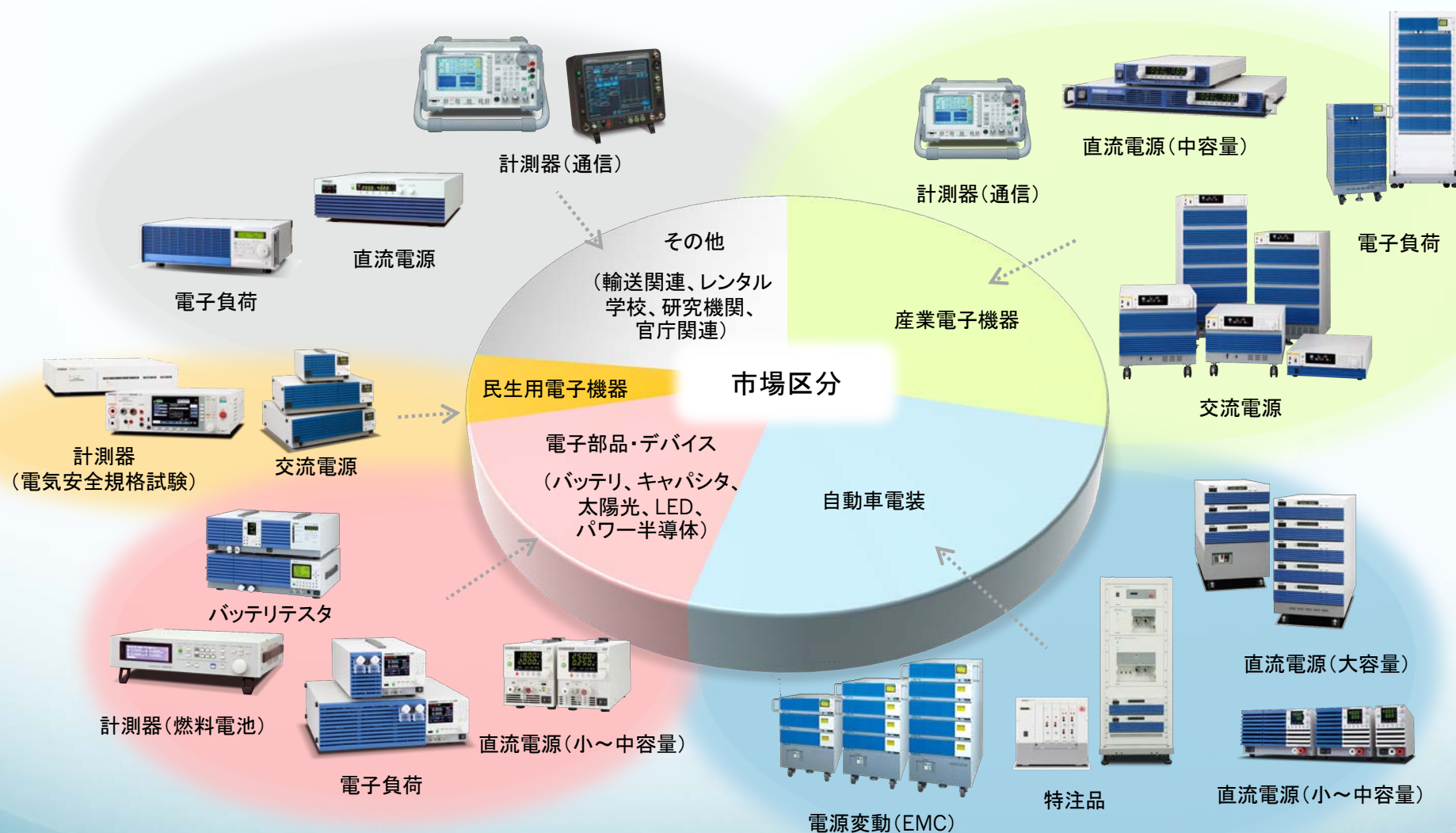
直流電源

交流電源

電子負荷



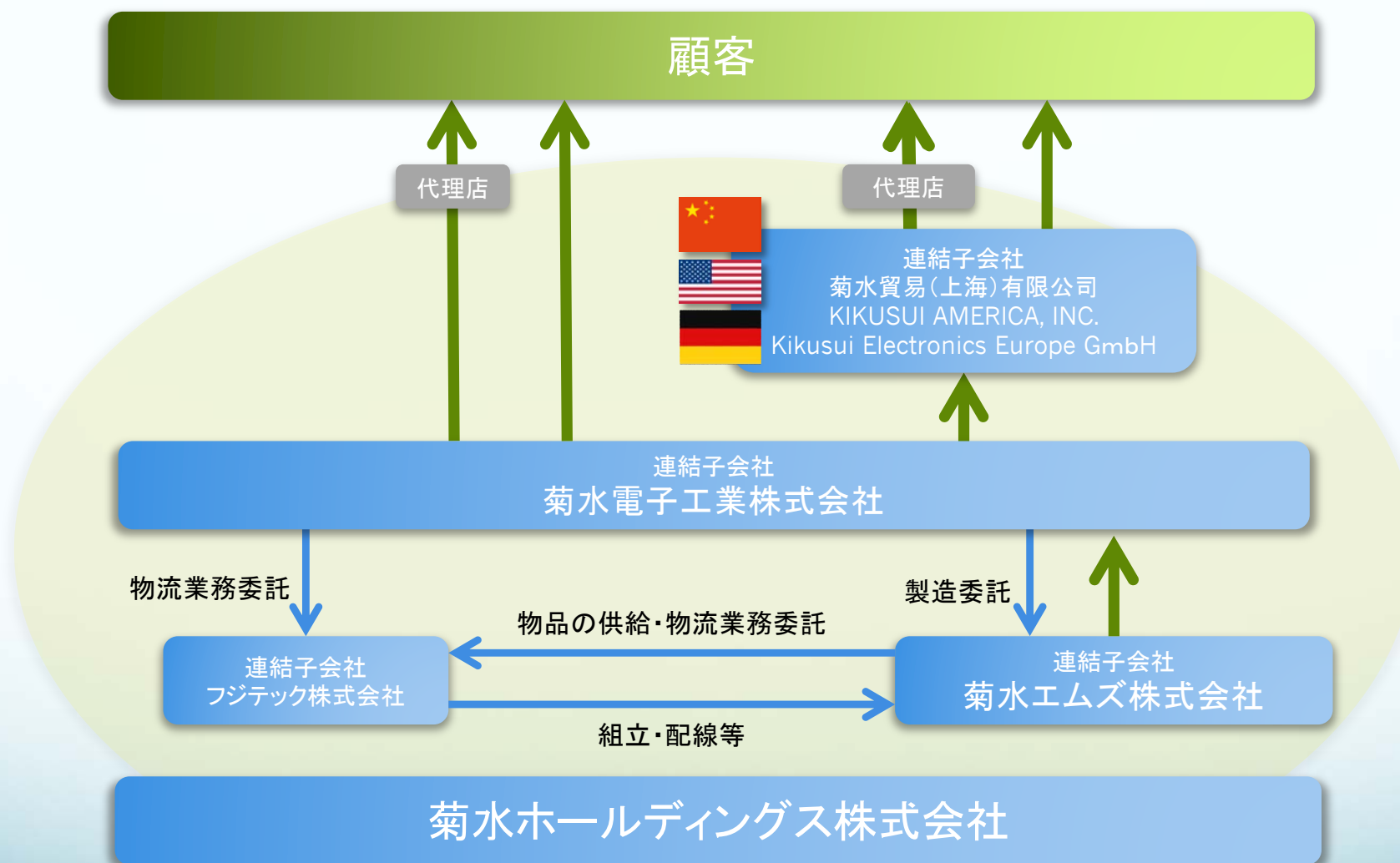
● 市場と製品



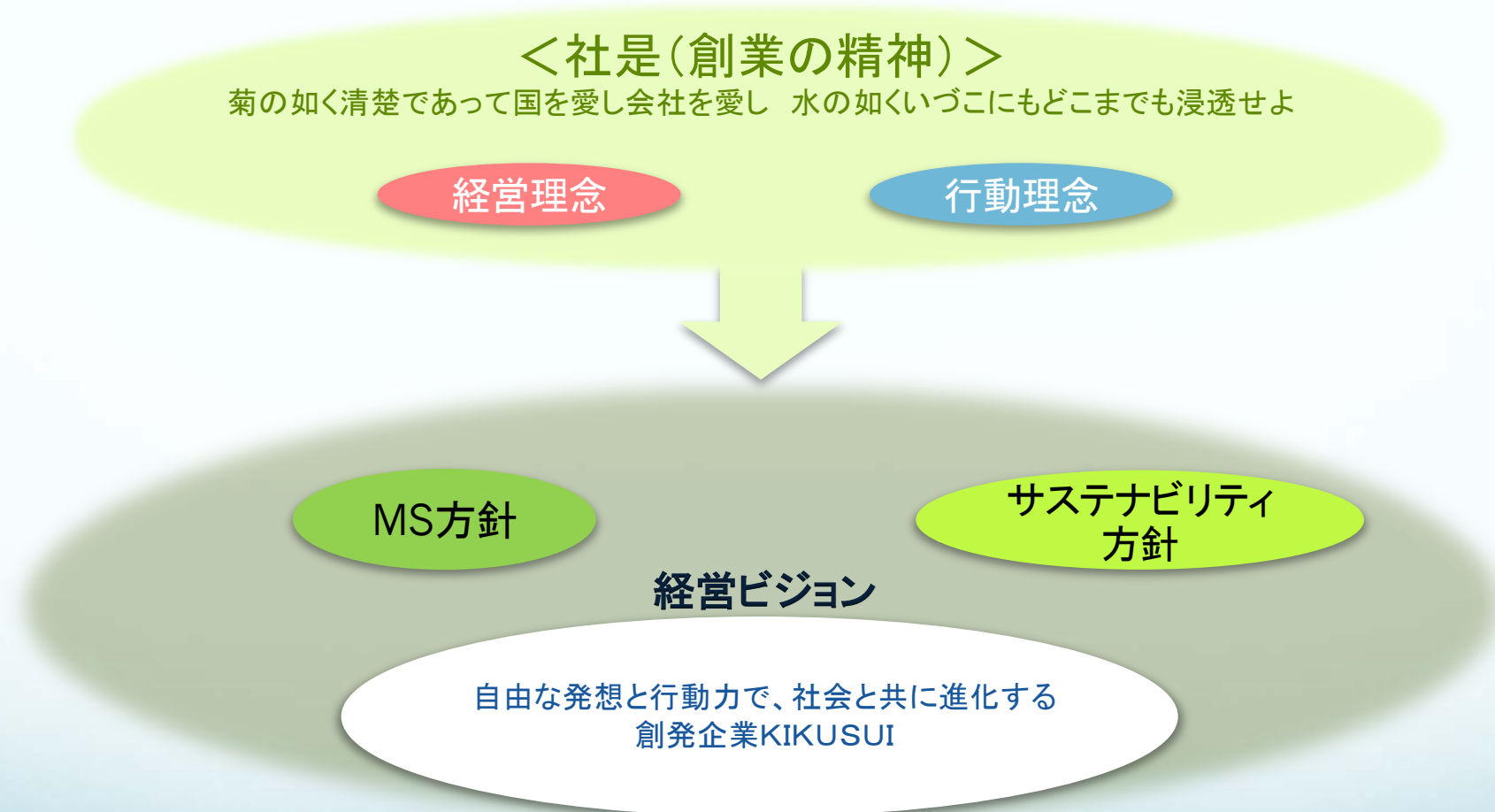
(2024年3月期実績による)

● 事業系統図

← 製品



- コーポレートステートメント



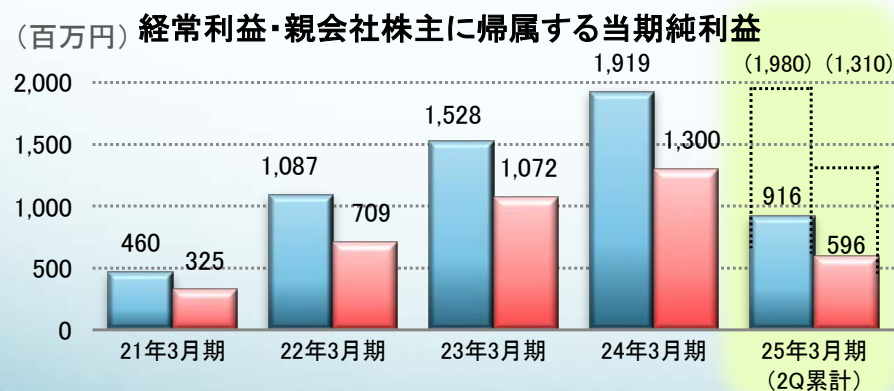
2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要



● 決算サマリー

- 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

経営の概況

当社グループが属する電気計測器業界においては、世界各国でのカーボンニュートラル、SDGs達成に向けた取り組み等により、自動車関連市場や電池関連市場等において、また、AI(人工知能)の需要拡大に伴い、半導体関連市場やデータサーバー関連市場等において設備投資の拡大が期待されておりますが、欧米における高い金利水準及び中国の市況低迷により、設備投資抑制の影響を受けております。

このような状況の中、当社グループは、グローバル需要を捉えるべく、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場、その中でも特にカーボンニュートラルや電動化を進めている分野に注力し、顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開し、展示会への出展やWebを活用した販売促進活動を進めるなど売上拡大に努めるとともに、原価低減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、海外市場の設備投資抑制の影響があったものの、国内市場のGX(グリーントランスフォーメーション)関連市場、自動車関連市場及び半導体関連市場等の設備投資需要を取り込んだことにより、59億4千5百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

損益面におきましては、設備投資抑制の影響による海外製品の仕入コストが減少したこと及びベースアップ等により人件費が増加したものの売上増加に伴い固定費の回収が進んだことなどにより、営業利益8億3千3百万円(前年同期比9.6%増)、経常利益9億1千6百万円(前年同期比13.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益5億9千6百万円(前年同期比14.9%増)となりました。

2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

● 損益計算書

	24年/3月期 第2四半期(中間期)		25年/3月期 第2四半期(中間期)		前年同期比	
	金額(百万円)	対売上構成比(%)	金額(百万円)	対売上構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	5,715	100.0	5,945	100.0	230	4.0
売上原価	2,709	47.4	2,797	47.1	88	3.3
売上総利益	3,005	52.6	3,148	52.9	142	4.7
販売費及び一般管理費	2,245	39.3	2,314	38.9	69	3.1
営業利益	760	13.3	833	14.0	73	9.6
営業外収益	79	1.4	86	1.5	7	8.9
営業外費用	31	0.6	3	0.1	△28	△88.7
経常利益	808	14.1	916	15.4	108	13.4
税金等調整前中間純利益	808	14.1	916	15.4	108	13.4
法人税等	288	5.0	319	5.4	31	10.9
親会社株主に帰属する中間純利益	519	9.1	596	10.0	77	14.9
1株当たり中間純利益	62.05円		71.92円			

※単位未満の金額は切捨て、百分率は四捨五入。

2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

● 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する中間期純利益

- 売上高: 5,945百万円
【前年同期 5,715百万円】 **+4.0%**
- 経常利益: 916百万円
【前年同期 808百万円】 **+13.4%**
- 親会社株主に帰属する
中間純利益: 596百万円
【前年同期 519百万円】 **+14.9%**

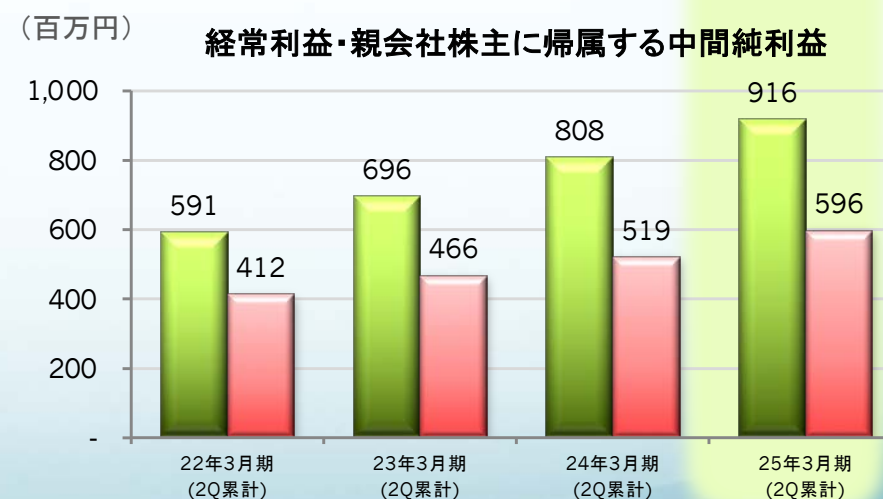
Point



グローバル需要を捉えるべく、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場、その中でも特にカーボンニュートラルや電動化を進めている分野に注力し、顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開し、展示会への出展やWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めるとともに、原価低減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、海外市場の設備投資抑制の影響があったものの、国内市場のGX(グリーントランスフォーメーション)関連市場、自動車関連市場及び半導体関連市場等の設備投資需要を取り込んだことにより、59億4千5百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

損益面におきましては、設備投資抑制の影響による海外製品の仕入コストが減少したこと及びベースアップ等により人件費が増加したものの売上増加に伴い固定費の回収が進んだことなどにより、営業利益8億3千3百万円(前年同期比9.6%増)、経常利益9億1千6百万円(前年同期比13.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益5億9千6百万円(前年同期比14.9%増)となりました。



2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

● 製品群別売上概況

- 電子計測器: 1,594百万円
【前年同期 1,333百万円】 **+19.6%**
- 電源機器: 4,097百万円
【前年同期 4,155百万円】 **△1.4%**
- その他: 253百万円
【前年同期 226百万円】 **+12.1%**

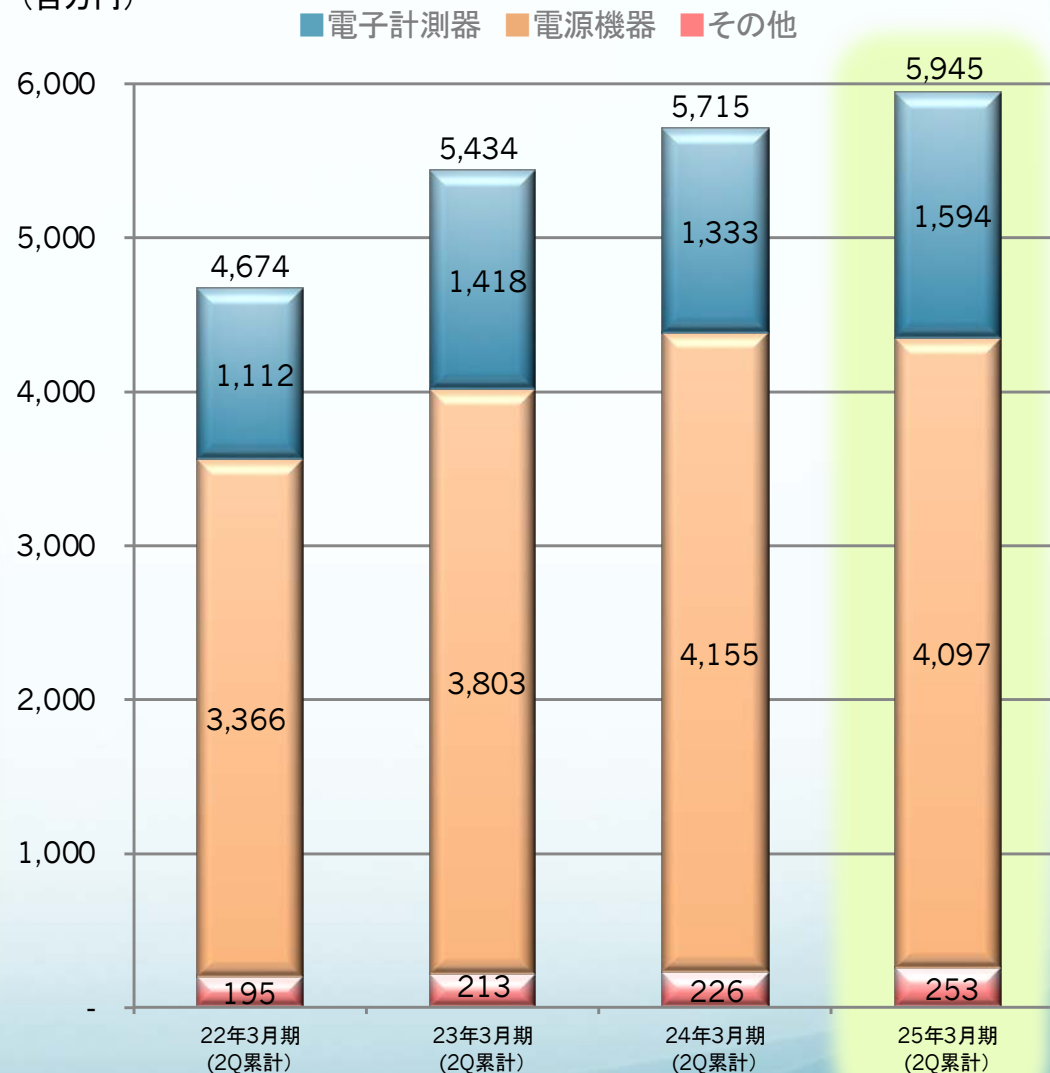
Point



電子計測器群では、航空機器用電子機器の測定器は、好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。安全関連試験機器は、EV(電気自動車)用バッテリーの耐電圧・絶縁抵抗試験器として電池関連市場向けに動きが見られました。以上の結果、売上高は15億9千4百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

電源機器群では、直流電源は、宇宙産業市場、車載関連市場、エネルギー関連市場及び半導体関連市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしましたが、中国における自動車関連市場及び半導体関連市場の設備投資抑制の影響により全体としては厳しい状況で推移いたしました。交流電源は、車載関連市場及びエネルギー関連市場への評価試験や製造設備用として動きが見られましたが、米国におけるエネルギー関連市場の設備投資抑制の影響等により全体としては厳しい状況で推移いたしました。電子負荷装置は、エネルギー関連市場及びAIデータサーバー関連市場への評価試験用として動きが見られました。以上の結果、売上高は40億9千7百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

(百万円)



2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

● 製品群別売上高構成比

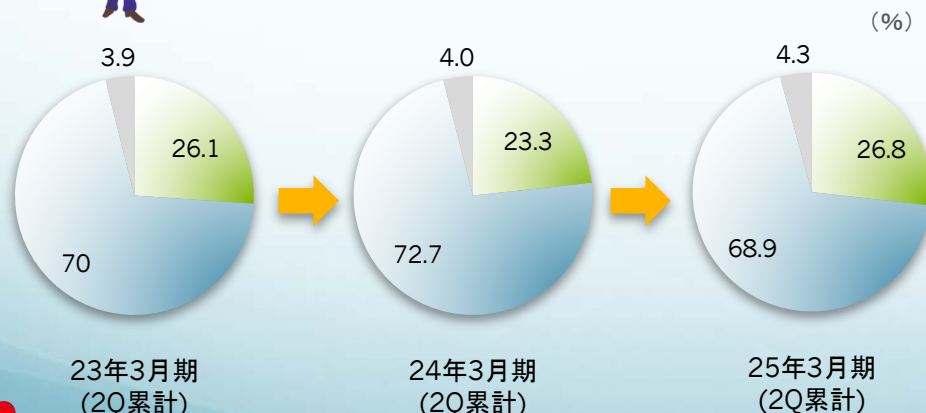
- 電子計測器 : 26.8%
【前年同期 23.3%】 **+ 3.5%**
- 電源機器 : 68.9%
【前年同期 72.7%】 **△ 3.8%**
- その他 : 4.3%
【前年同期 4.0%】 **+ 0.3%**

Point



電子計測器では、航空機器用の計測器が前年同期を大きく上回ったこともあり、構成比率が増加し、電源機器の構成比率が減少しました。

■ 電子計測器
■ 電源機器
■ その他



23年3月期
(2Q累計)

24年3月期
(2Q累計)

25年3月期
(2Q累計)

● 製品群別売上総利益率

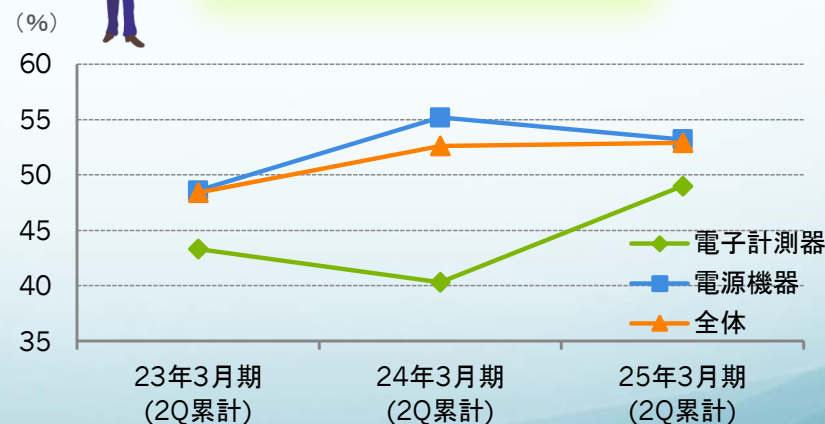
- 電子計測器 : 49.0%
【前年同期 40.3%】 **+ 8.7%**
- 電源機器 : 53.2%
【前年同期 55.2%】 **△ 2.0%**

売上総利益率 : 52.9%
【前年同期 52.6%】 **+ 0.3%**

Point



電源機器の売上総利益が減少しましたが、電子計測器は原価低減と経費節減に努力を重ね、売上高・売上総利益率共に増加しました。



23年3月期
(2Q累計)

24年3月期
(2Q累計)

25年3月期
(2Q累計)

2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

● 海外売上高

- 北米:464百万円
【前年同期 784百万円】 $\Delta 40.8\%$
- 欧州:262百万円
【前年同期 231百万円】 $+13.6\%$
- 中国:914百万円
【前年同期 1,134百万円】 $\Delta 19.4\%$
- その他アジア:519百万円
【前年同期 624百万円】 $\Delta 16.9\%$
- その他の地域:23百万円
【前年同期 30百万円】 $\Delta 23.7\%$

海外販売高合計:2,184百万円
【前年同期 2,805百万円】 $\Delta 22.2\%$

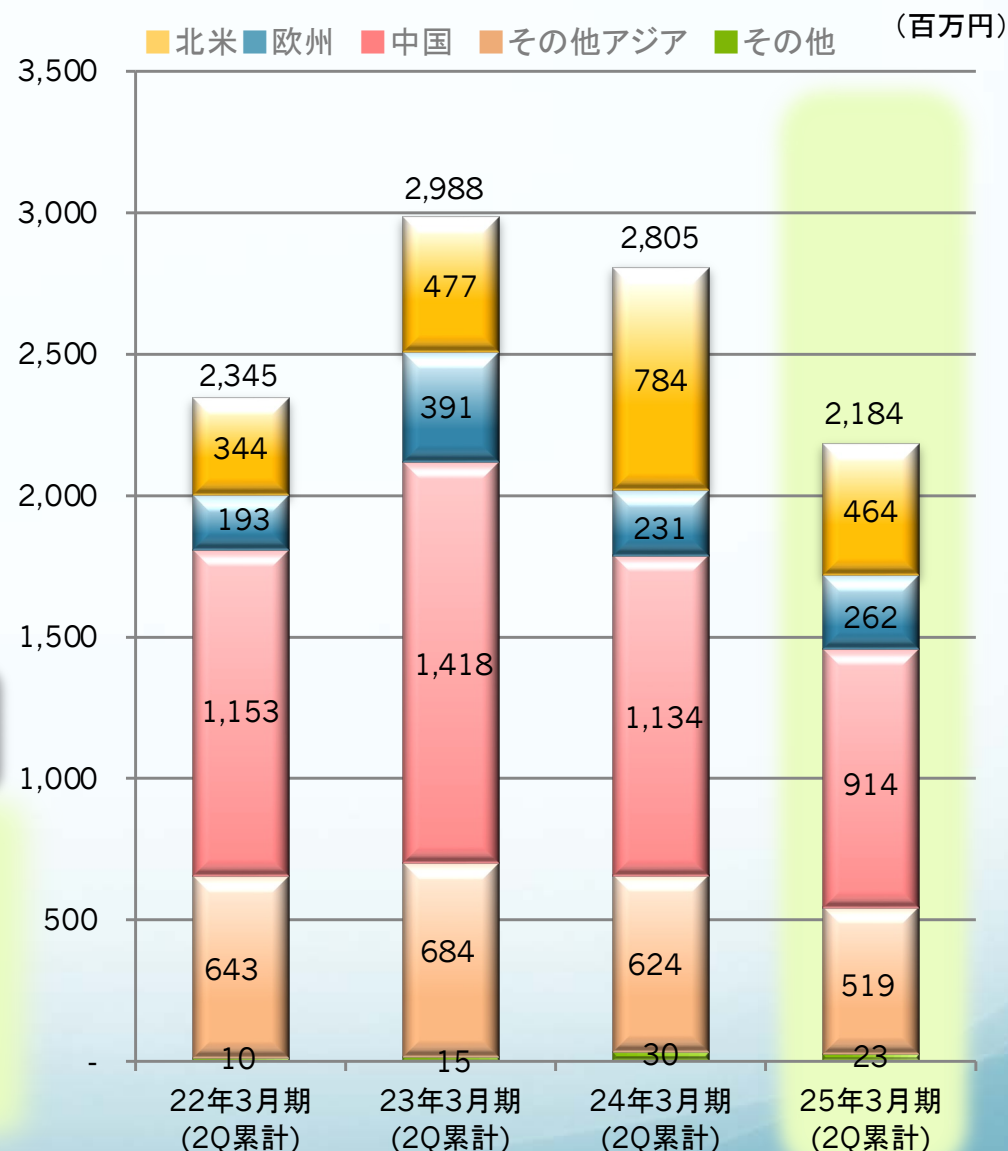
Point



米国では、宇宙産業市場及びAI関連市場への直流電源や電子負荷装置に動きが見られましたが、エネルギー関連市場やEV関連市場の設備投資抑制の影響により低調に推移いたしました。

欧州では、空調機器関連市場及び航空宇宙関連市場への交流電源や半導体関連市場への電子負荷装置に動きがありました。

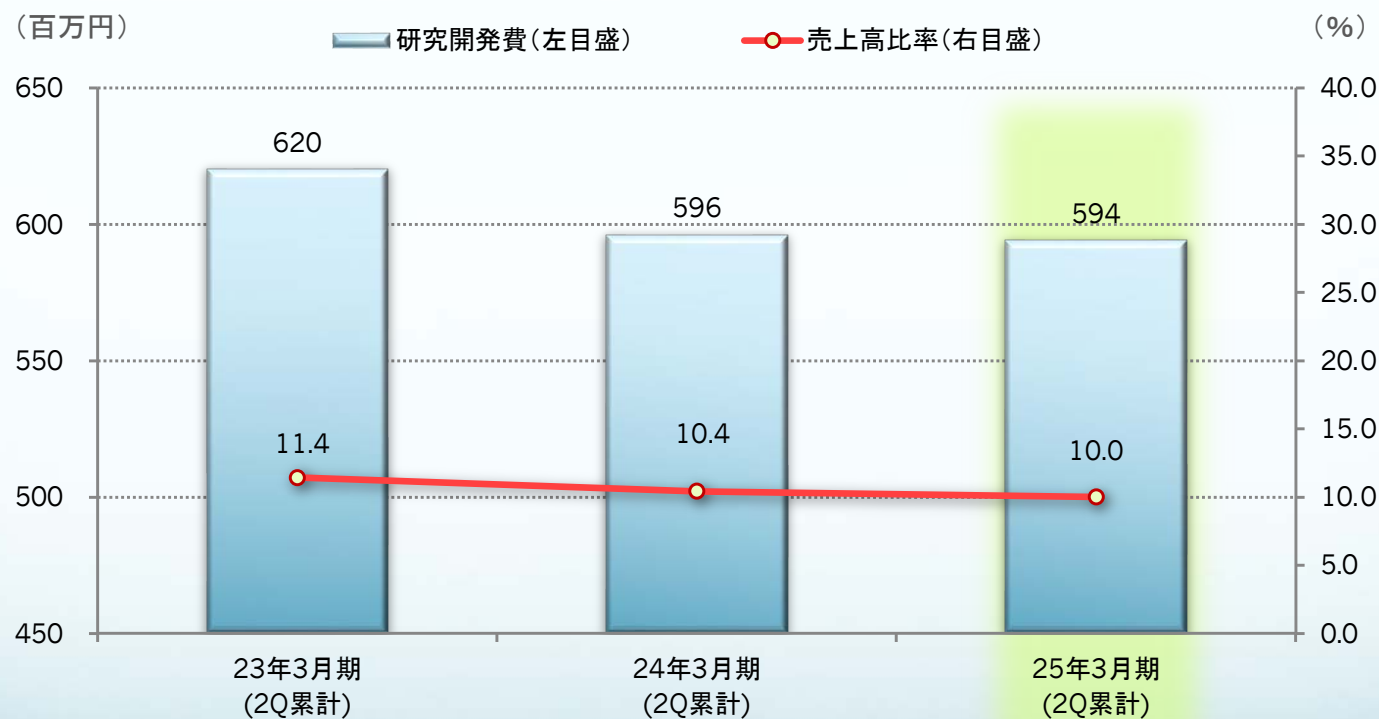
アジアにおいては、中国では、電池関連市場への安全関連試験器に動きが見られましたが、自動車関連市場及び半導体関連市場の設備投資抑制の影響により低調に推移いたしました。また、韓国では、車載関連市場への直流電源や電子負荷装置が低調に推移し、東南アジアでは、IT(情報技術)関連市場への交流電源に動きが見られましたが、全体的には低調に推移いたしました。



2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

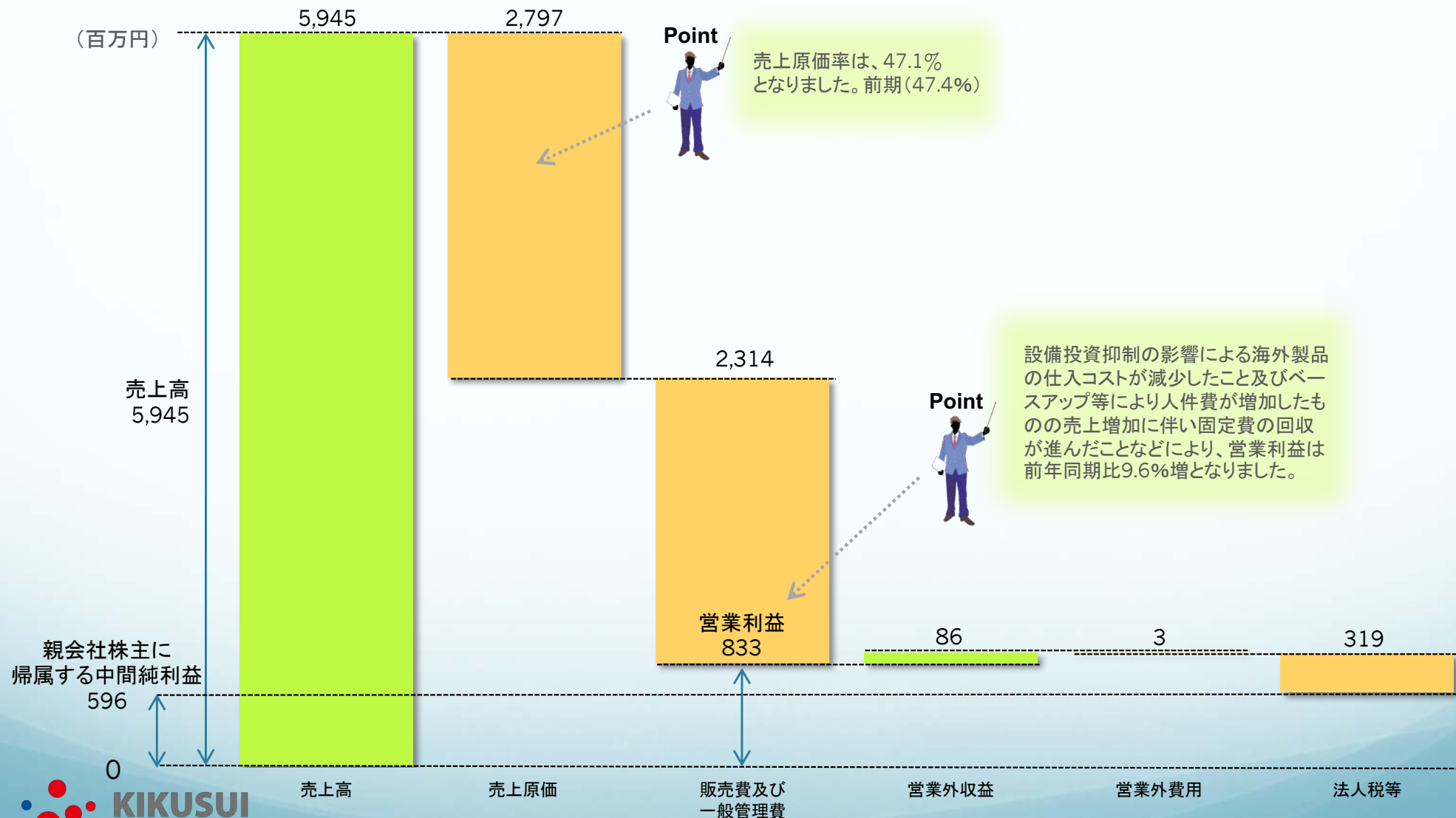
- 研究開発投資(対売上高比率)

- 594百万円(10.0%)
【前年同期 596百万円(10.4%)】



2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

● 損益の概況



2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

● 貸借対照表

(百万円)

【資産の部】	24/3/31	24/9/30	増減
流動資産合計	9,922	10,087	164
固定資産合計	6,185	5,775	△410
資産合計	16,108	15,862	△246
【負債の部】	24/3/31	24/9/30	増減
流動負債合計	1,865	1,822	△42
固定負債合計	957	841	△115
負債合計	2,823	2,664	△158
【純資産の部】	24/3/31	24/9/30	増減
資本金	2,201	2,201	—
資本・利益剰余金	10,369	10,592	223
自己株式	△887	△877	10
その他の包括利益累計額合計	1,602	1,281	△321
純資産合計	13,285	13,197	△88

固定資産は投資有価証券の中間期末時価の下落による変動がありました。それに伴い、固定負債は繰延税金負債が減少し、その他有価証券評価差額金等が減少した事によりその他の包括利益累計額合計に変動がありました。

Point



2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結業績概要

● キャッシュ・フロー

【CF計算書】(百万円)	22年/9月期	23年/9月期	24年/9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	90	356	1,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14	△106	△141
財務活動によるキャッシュ・フロー	△251	△319	△387
現金及び現金同等物の増減額	△138	△52	464
現金及び現金同等物の期首残高	2,909	2,646	3,184
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,770	2,593	3,649

Point



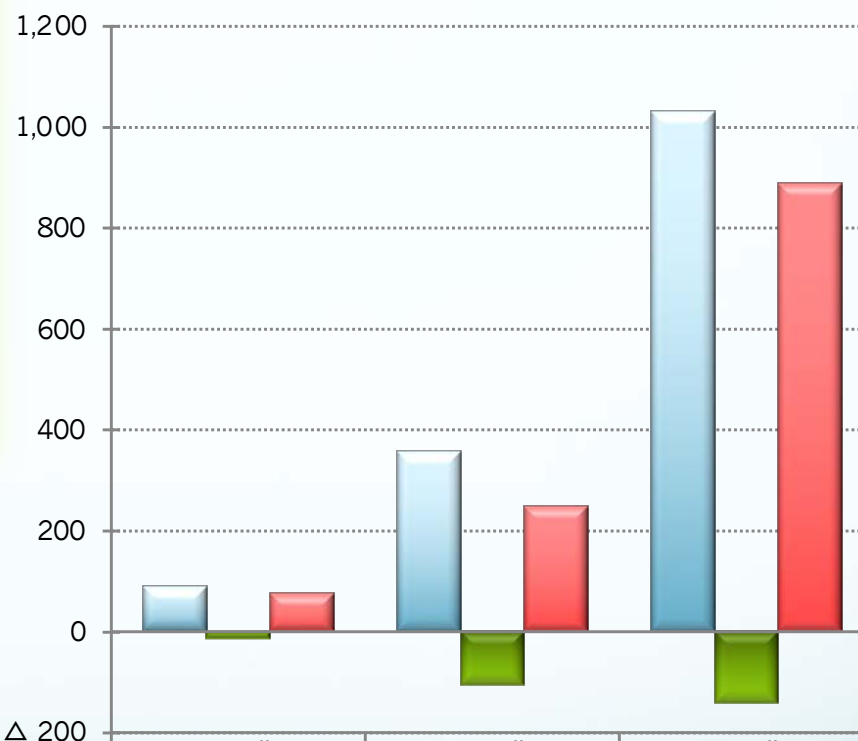
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益の計上及び売上債権の減少額等による資金の増加が、法人税等の支払額及び棚卸資産の増加額等による資金の減少を上回り、10億3千1百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得により、1億4千1百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、3億8千7百万円の支出となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高に比べ、4千6千4百万円増加し、36億4千9百万円となりました。

(百万円)



	22/9期	23/9期	24/9期
■ 営業CF	90	356	1,031
■ 投資CF	△14	△106	△141
■ フリーCF	76	249	889

2025年3月期 連結業績予想

2025年3月期 連結業績予想

	24年3月期	25年3月期		
	通期実績(百万円)	通期予想(百万円)	前期比増減額(百万円)	前期比増減率(%)
売上高	12,488	12,800	311	2.5
営業利益	1,853	1,930	76	4.1
経常利益	1,919	1,980	60	3.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,300	1,310	9	0.7

	24年3月期	25年3月期	
	通期実績(円)	通期予想(円)	前期比増減額(円)
1株当たり 配当金	47.00	47.00	0.00

本資料における注意事項

本資料は、2025年3月期第2四半期(中間期)決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2024年10月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

[本資料および当社IRに関するお問い合わせ先]

菊水ホールディングス株式会社 総務部 IR担当

TEL:045(482)6912 E-mail:ir@kikusui.co.jp URL:<https://kikusui-holdings.co.jp/>